



# 宇宙戦略基金事業における 国内打上げ調整に関する説明会

2025年9月18日

2026年2月10日 更新

宇宙航空研究開発機構（JAXA）  
宇宙戦略基金事業部 企画推進課



## 目的

宇宙戦略基金事業における国内打ち上げ原則の考え方及び提案時/採択後に行う具体的な調整のイメージを理解いただき、円滑な打上げ計画の立案・実施に繋げること

## アジェンダ

- |                             |             |         |
|-----------------------------|-------------|---------|
| 1. ご挨拶                      | 13:00~13:03 | JAXA    |
| 2. 宇宙戦略基金事業における国内打上調整について   | 13:03~13:25 | JAXA    |
| 3. JAXAからSpaceBD社への委託業務について | 13:25~13:45 | SpaceBD |
| 4. 質疑応答(終了後、ネットワーキング)       | 13:45~14:00 |         |

1. 宇宙戦略基金事業における国内打上調整について
2. JAXAからSpace BD社への委託業務
3. 質疑応答



- 宇宙戦略基金基本方針では、「**打上げを円滑かつ確実に履行する観点から、原則として国内からの打上げとする**」とされている。
- これを踏まえ、国内での打ち上げが確定していない実施機関に対しては、国内打上げ調整を求めるとともに、国内打上げが不可と判断された場合は、JAXAによる海外打上げ妥当性判断を実施する。このため、**提案の段階から国内打ち上げを基本とした計画・調整が必要**。

## (5-8. 打上げや国際周波数等に係る調整)

- 各実施機関が、技術実証等のために衛星等の打上げをする際には、使用するロケットの調達、軌道上実証機会の確保や衛星の国際周波数等の調整に一定の期間を要することに十分に留意し、必要に応じて、JAXAは支援や助言を行う。
- 本基金の対象経費に宇宙実証のための打上げ費用を計上している技術開発課題については、打上げを円滑かつ確実に履行する観点から、原則として国内からの打上げとする。但し、やむを得ない事情があると認められる場合は、この限りではない。
- 政府は、本事業の実証等において国内の民間ロケットの活用を促進するとともに、基幹ロケットの利用を要する場合は、円滑な利用が可能となるよう配慮する。

# 打上計画に関する提案書様式（様式14）について

- 宇宙実証が認められている技術開発テーマについては、打上計画を記載する様式の提出が必須（様式14）  
⇒提案の段階から国内打ち上げに向けて、国内宇宙輸送事業者等との調整が必要。
- 海外打ち上げの可能性が見込まれる場合は、国内打ち上げが出来ない理由の記載も必須。

## 公募要領（抜粋）

### 3. 応募資格

#### (2) 提案に関する注意点

#### ④ 打上実証について

基本方針において、「本基金の対象経費に宇宙実証のための打上げ費用を計上している技術開発課題については、打上げを円滑かつ確実に履行する観点から、原則として国内からの打上げとする。但し、やむを得ない事情があると認められる場合は、この限りではない。」とされていることを踏まえ、打上げ費用や軌道上実証費用が計上可能な技術開発テーマについては、原則として、国内宇宙輸送事業者や、国内の軌道上実証機会を提供する衛星事業者等（以下、「軌道上実証機関」という。）を活用した提案書を作成してください。

国内宇宙輸送事業者や、国内軌道上実証機関を活用することが、費用以外のやむを得ない理由によりできない場合には、その理由を【様式14】において説明してください。理由次第では、不採択、あるいは条件付き採択となる場合があります。打上げ・軌道上実証の費用については、当該理由の妥当性を JAXA にて確認した後に支出します。

また、国内宇宙輸送事業者や国内軌道上実証機関とのつながりがなく、直接調整することが難しい場合や、打上げや軌道上実証の知見が乏しく助言が必要な場合等のために、JAXA からの事務委託として Space BD 株式会社に以下の相談窓口を設置しております。Space BD 株式会社は、国内宇宙輸送事業者において打上げ予定となっているロケットの空きウィンドウや、国内軌道上実証機関において打上げ予定となっている衛星等の空きスペースや新規製造可能性について網羅的な情報収集業務を委託しています

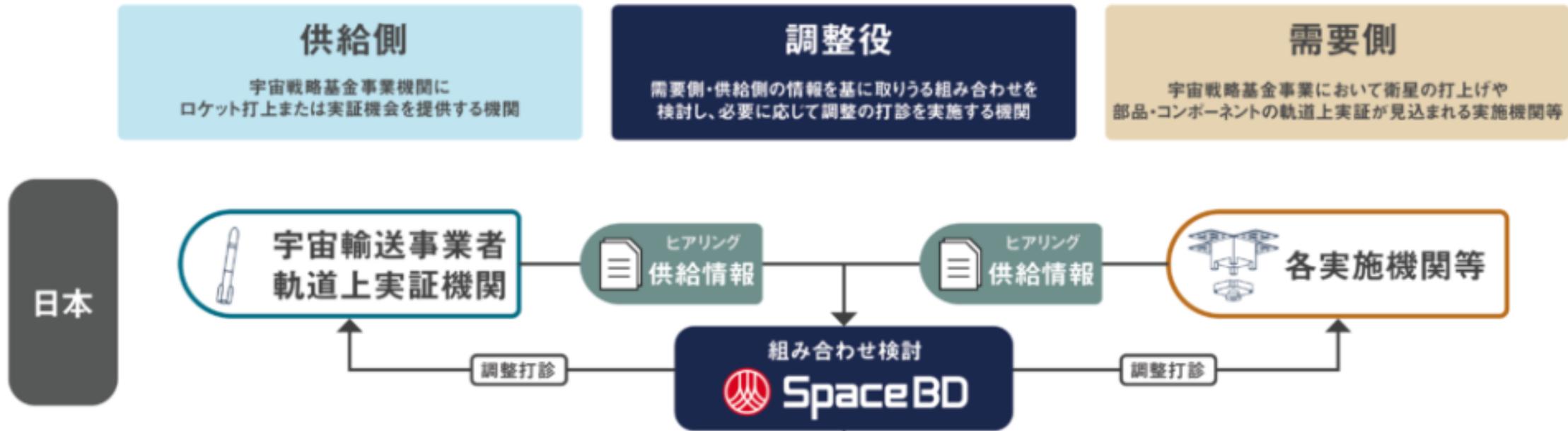
## 提案書様式14

### 【様式14】 国内打ち上げに関する計画

- (1) 想定する宇宙輸送事業者や軌道上実証機関名
- (2) 宇宙輸送事業者や軌道上実証機関との調整状況
  - 国内の事業者と合意済
  - 国内の事業者と調整中
  - 海外の事業者と合意済（→ (3) 記入）
  - 海外の事業者と調整中（→ (3) 記入）
  - その他（自由記載）
- (3) やむを得ず国外の宇宙輸送事業者や軌道上実証機関を活用する場合の理由：
  - ⋮

# SpaceBD社 円滑な打ち上げに向けた支援・助言事務について

- 実施機関が国内打ち上げ調整を円滑に実施するための**支援や助言を得られる「円滑打ち上げ事業」**をSpaceBD社がJAXAから請け負っており、**同社から国内宇宙輸送事業者等との調整の支援を受けることが可能。**
- **不十分な打ち上げ計画**は、事業実施段階での不成立や費用不足に繋がり、**最終的に事業を成立させることが困難になるリスクがある**ため、円滑打ち上げ事業の相談窓口も活用いただき、**打上費用を含め国内宇宙輸送事業者とよく調整の上、打上計画の検討をお願いいたします。**



# 国内打上げ調整に関する採択条件について

●国内打上げが確定していない提案については、以下の①②③の調整により国内打ち上げを確定させる又は海外打ち上げの妥当性についてJAXAから承認を得るまでは、打ち上げ経費の請求ができないことを採択条件として付している。

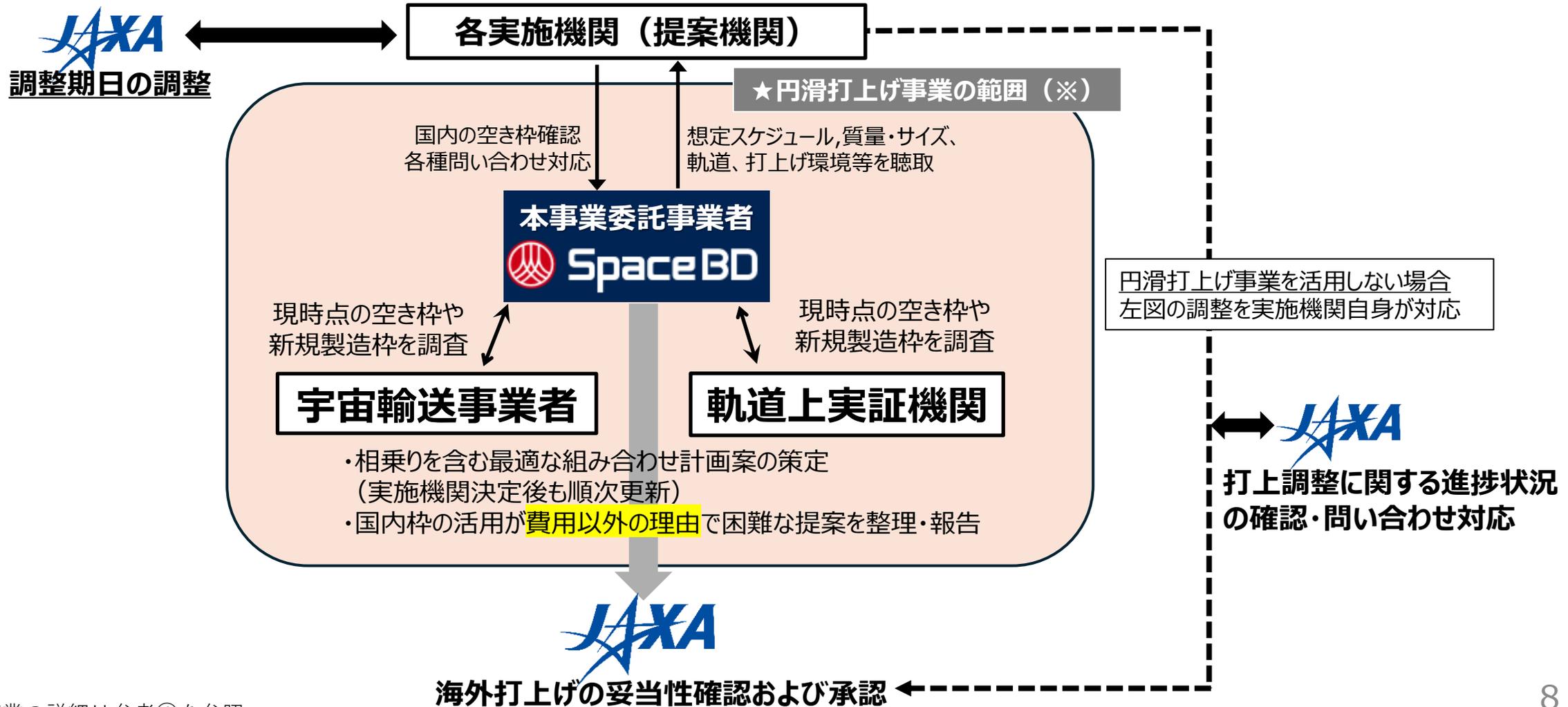
- ① 打上げ時期等を踏まえ、「技術開発計画書」に打上げ機会毎の宇宙輸送事業者との調整期日（参考①）を定める
- ② ①の期日までに、国内の各宇宙輸送事業者と、打上希望時期、実証実績、軌道、高度、機数、重量、サイズ、搭載方向、環境試験条件等の条件に合意できるか調整する。
- ③ 価格以外の理由で国内の各宇宙輸送事業者と条件の合意ができず、海外打上げの妥当性の確認をJAXAに求める場合には、JAXAが参考②に示すマッチングシートに基づき報告を行い、JAXAから承認を取る。

## 【第1期公募における打上げ計画の状況】

打上げ計画	採択件数	審査会における確認結果 (打上げ調整に関する内容に限定)
国内打上げ	2件	採択
国内打上げを前提としつつ、 海外打上げの可能性も記載 (国内海外両用を含む)	10件 (※)	<u>条件付採択</u>
海外打上げ	2件	<u>条件付採択</u>
ISSでの実証	2件	採択 打上場所はISS計画の参加機関間の調整にて決定されるため（提案機関に決定権がないため）、国内宇宙輸送事業者との調整は求めている。

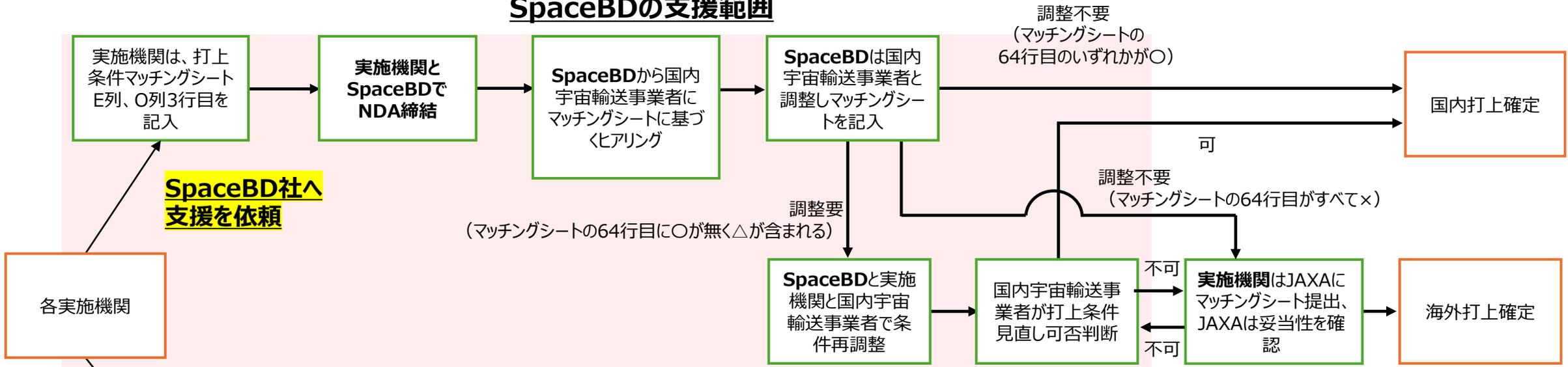
# 国内打上げ調整におけるJAXAの役割

- 国内宇宙輸送事業との調整については、円滑打上げ事業の委託事業者であるSpaceBDが支援（マッチングシートのやりとり、技術情報の入手等）
- JAXAは実施機関との調整期日の調整、国内打上げが不可と判断された場合の海外打上げ妥当性確認及び承認が主な役割となる

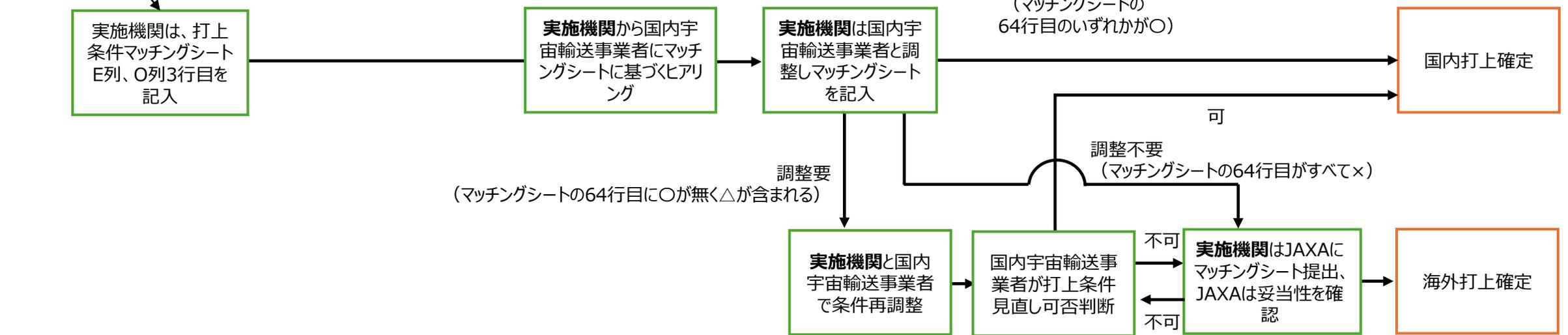


# 打上げ確定までのフロー

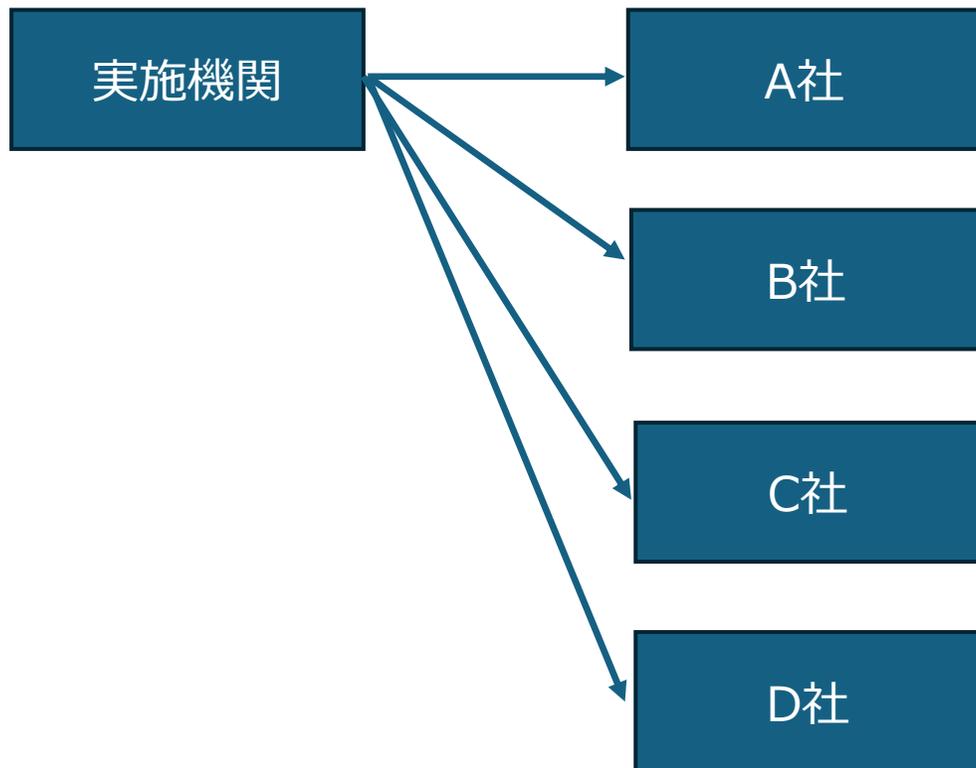
## SpaceBDの支援範囲



## 実施機関自身で調整



- 調整期日の妥当性および**国内宇宙輸送事業者との調整結果**を判断根拠にJAXAが確認・承認する。
- マッチングシートにおいていずれかの条件に不適合があった場合にのみ、海外打上げを承認する。  
(必要に応じJAXAから国内宇宙輸送事業者へ記載内容の確認を実施する)



## マッチングシートの概要

- ① 打上希望時期
- ② 実証実績
- ③ 軌道
- ④ 高度
- ⑤ 機数
- ⑥ 重量
- ⑦ サイズ
- ⑧ 搭載方向
- ⑨ 環境試験条件

サインバースト試験  
加速度試験  
静加重試験  
音響試験  
ランダム振動試験  
正弦波振動試験  
衝撃試験

等

## 【これまでの主な打上不可理由】

- ・打上希望時期が不適合
- ・打上条件が不適合（傾斜角・高度等）
- ・打上能力が不適合
- ・打上成功実績無し 等

- 軌道上実証機関（※）を活用する場合、実施機関は以下に示す表の優先順位で調整

※ここでは宇宙機器の軌道上実証のための衛星やプラットフォーム、月面着陸ランダー、軌道間輸送機（OTV）等を運用する機関を指す。

優先順位	軌道上実証機関	宇宙輸送事業者
1	国内	国内
2	海外	
3	国内	海外
4	海外	

- 但し、国内外に軌道上実証機関は不特定多数存在しており、総当たりにより国内打上げができないことの証明は困難であるため、**“国内打上げの調整が可能”な国内外の軌道上実証機関を予めリスト化（登録制）**し、調整先候補となる軌道上実証機関を限定列挙で示すことで、上記の優先順位の高い軌道上実証機関から順に調整が行われるようにする。

## 運用のイメージ

- ①国内打上げ調整が可能な軌道上実証機関の登録のための申請窓口を基金HP上に発出（事務手続きは円滑打ち上げ事業の委託業者であるSpaceBD社が対応）
- ②JAXAが申請資格を満たすことを確認した事業者は、国内打上げ調整可能な軌道上実証機関として登録を受ける（登録制）
- ③登録された機関をリスト化し、実施機関はリスト化されている機関と国内打上げの調整を行う（優先順位 1 及び 2 の調整）
- ④調整の結果、国内打上げが不可であるという明確な根拠・妥当性が確認された場合、優先順位 3 以降の調整を行う。

## ■ 提案機関の方へ（基金事業への提案を検討されている方）

可能な限り**公募開始日時点のリストに掲載される事業者と調整**をお願いいたします。

採択後の調整をより円滑に進めていけるよう、予算面を含め優先順位がより高い組み合わせにて予め検討・計画いただけますと幸いです。

## ■ 実施機関の方へ（宇宙戦略基金事業第一期に採択されている機関）

**優先順位 1 の組み合わせで確定していない場合は、登録リストに掲載されている軌道上実証機関の実証サービスの活用可否の検討を行う必要**があります。

調整の結果、国内打上げが不可であることが見込まれる場合はマッチングシート（※参考②及び③）にて理由を識別し、JAXAへ報告をお願いいたします。内容を確認・精査した上で、海外打上げ承認を行います。

なお、**軌道上実証機関との調整期日を設定する際は、登録機関との調整可能な期限も含め技術開発計画書に明記し、調整を進めてください（以下例を参照）。**

### 調整期日を2025年12月末とする場合のイメージ（例）

設計・開発期間等を考慮し、軌道上実証機関との調整期日は2025年12月末とする。なお、軌道上実証機関との調整や技術検討には最低2ヶ月は要するため、2025年10月末時点の登録機関と調整を行う。

※マッチングシートについては、参考②の宇宙輸送事業者マッチングシートは運用中ですが、参考③の軌道上実証機関マッチングシートは今後運用予定のため、運用の状況により、一部内容を変更する可能性があります。

## ■ 登録手続きの概要

宇宙戦略基金HPから申請し、承認を得た事業者を国内打上げ調整可能な軌道上実証機関として登録する。

申請資格	<ul style="list-style-type: none"><li>法人格 自国または活動拠点の所在国の法令に基づき適正に設立された民間企業、大学、または研究機関等であること</li><li>調整意思 JAXAが示す調整プロセス（※）に基づき国内打ち上げを目指した調整事務を遂行する意思があること なお、調整意思の証左として既に国内輸送事業者と調整を行っていること</li><li>軌道上実証実績 過去に1回以上の軌道上実証実績（成否を問わない）（※起業前の所属研究機関での軌道上実証実績等を含む）</li></ul>
申請開始時期	2025年9月下旬より開始予定（常時募集想定）
申請方法	基金HPに掲載される <a href="#">登録用Forms</a> より申請
備考	・登録された事業者について、JAXAが示す調整プロセスに基づき国内打ち上げを目指した調整事務を遂行する意思が確認できなかった場合、登録を解除する場合がある。

※スライド9に示す打上げ確定までのフロー参照

## 国内打上げの場合

国内の宇宙輸送事業者とLSA締結事務調整  
(稟議・決裁期間を想定)

## 海外打上げの場合

JAXAの承認期間  
(1~2週間程度、案件により変動)

海外の宇宙輸送事業者と  
LSA締結事務調整  
(稟議・決裁期間を想定)

国内の宇宙輸送事業者と  
マッチングシートを用いて  
打上げ条件を調整

※調整の状況に応じ海外打上げの調整も並行して行う

調整期日

(LSA※締結事務調整期間を除く輸送事業者との調整期間末)

# 【参考②】国内宇宙輸送事業者マッチングシート（抜粋）



## 国内宇宙輸送事業者搭載可否

\*少なくとも打上実績（成否を問わない）を持つ国内宇宙輸送事業者の4社と協議のうえ「打上条件マッチングシート（記入例・ガイド）」に記載されている○×△に沿って（△・×の場合理由も）記入をお願いします。  
国内宇宙輸送事業者との調整内容は他の国内宇宙輸送事業者に開示しないようご注意ください。

### 採択者入力欄

\*同時打上を想定している  
衛星群毎に記入をお願いします

#### 三菱重工業

#### IHIエアロスペース

#### スペースワン

#### インターステラテクノロジズ

#### その他 (将来宇宙輸送システム、SPACE WALKER等)

○×△

コメント (△・×の場合)

打上条件		採択者入力欄 *同時打上を想定している 衛星群毎に記入をお願いします	三菱重工業 ○×△ コメント (△・×の場合)	IHIエアロスペース ○×△ コメント (△・×の場合)	スペースワン ○×△ コメント (△・×の場合)	インターステラテクノロジズ ○×△ コメント (△・×の場合)	その他 (将来宇宙輸送システム、SPACE WALKER等) ○×△ コメント (△・×の場合)
提案テーマ							
機数							
打上希望時期	最早						
	最遅						
打上成功実績有無							
傾斜角	最小						
	最大						
高度	最低						
	最高						
環境試験条件	サインバースト試験	こちらのハンドブック※の表5-7を参考に左記7つの試験における最大予測環境レベル (MPEL) を教えてください。					
	加速度試験						
	静加重試験						
	音響試験	グラフ等での表現が適切な試験項目を含むため、別資料等で回答をお願いします。					
	ランダム振動試験						
	正弦波振動試験	※リンク切れとなる場合、JAXA JERG-2-130-HB007 宇宙機一般試験標準ハンドブックにて格差してください。					
重量 ※上で記入した機数分 記入してください。	衛星#1	最小					
		最大					
	衛星#2	最小					
		最大					
	衛星#3	最小					
		最大					
	衛星#4	最小					
最大							
衛星#5	最小						
	最大						
上記衛星以外	最小						
	最大						
衛星#1	x						
	y						
	z						
	ロケットインターフェース面						
衛星#2	x						
	y						
	z						
	ロケットインターフェース面						



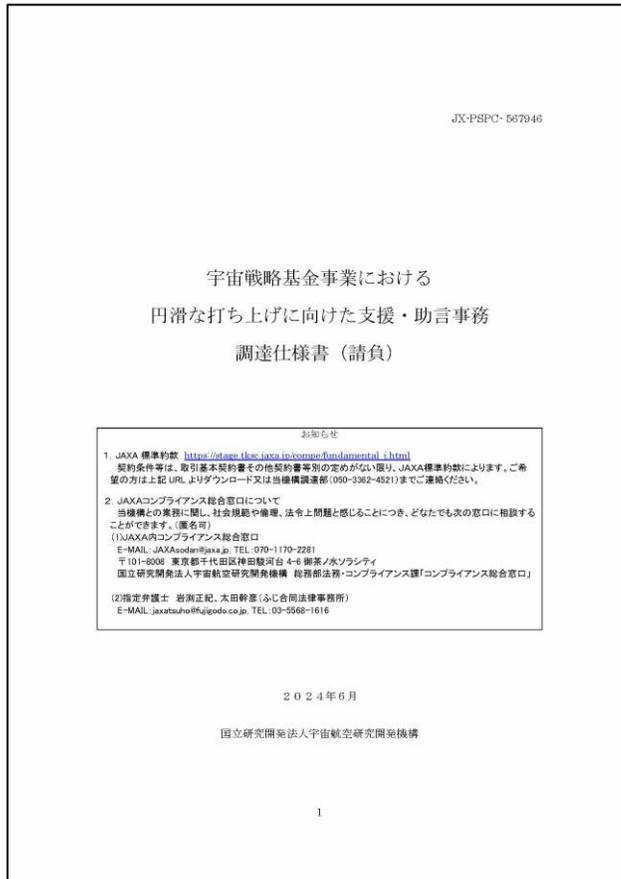
前述の宇宙戦略基金基本方針「5 - 8. 打ち上げや国際周波数等に係る調整」において、**打ち上げを円滑かつ確実に履行する観点から、原則として国内からの打ち上げとすることが定められている。**

これを踏まえ、JAXA では、宇宙戦略基金事業において各技術開発テーマに採択された事業者が**国内ロケットや軌道上実証機会を円滑に利用するための支援や助言を行うための「円滑打ち上げ事業」を開始し、同事業の委託先としてSpace BD社を選定した。**当該事業の仕様書は以下の通り。

## 仕様書 <抜粋>

### 4. 2 作業要求

- ① 宇宙戦略基金事業において衛星の打ち上げや部品・コンポーネントの軌道上実証が見込まれる実施機関、又はそのために公募への事業提案を目指している実施候補機関（以下、「**各実施機関等**」という。）から、打ち上げや軌道上実証の想定スケジュールや希望する軌道高度情報等を聴取する。ただし、実施機関等が拒む場合はこの限りでない。
- ② **国内外の宇宙輸送事業者**に基金事業期間に打ち上げ予定となっているロケットの空きウィンドウや新規製造可能性を確認する。
- ③ 国内外で軌道上実証機会を提供する衛星事業者等（以下、「**軌道上実証機関**」という。）に打ち上げ予定となっている衛星等の空きスペースや新規製造可能性を確認する。
- ④ 各実施機関等、国内宇宙輸送事業者、軌道上実証機関のための相談窓口を設け、JAXAと連携して周知を図る。電波法等の関連法令対応に関する基本的な情報提供の事務も窓口業務に含めること。また、宇宙戦略基金事業の円滑な運営、技術開発マネジメントの観点から、電波法の申請状況については定期的に確認し、必要に応じて助言を行う。
- ⑤ ①②③を踏まえつつ、JAXAからの求めに応じ、**各実施機関等が国内打ち上げや国内衛星等による軌道上実証を可能とするような最適な組み合わせ計画案（以下、「組み合わせ計画案」という。）を、JAXA、各実施機関等、軌道上実証機関及び国内宇宙輸送事業者に提案する。**さらに、JAXAからの求めに応じ、この提案に対する各実施機関等、国内宇宙輸送事業者及び軌道上実証機関それぞれからのフィードバックを踏まえた再提案を行うプロセスを繰り返し、それぞれが許容可能な打ち上げ及び軌道上実証の組み合わせ計画案の策定を目指す。組み合わせ計画案の策定にあたっては、それぞれからの求めに応じ、インターフェースプレート、分離機構、放出機構などに係る情報提供を行うこと。なお、ミッション・インテグレーションは国内宇宙輸送事業者が行う。
- ⑥ ⑤において、**国内打ち上げや、国内の軌道上実証機関の活用が費用以外の問題でどうしても困難な場合、その理由を整理し、JAXAに報告する。**その場合、実施機関等のニーズに合致した空きスロットを持つ海外の宇宙輸送事業者や軌道上実証機関への相乗り等の調整について、本事業で得られた情報も活用しつつ、本事業の範囲外で事業者が実施機関等から対価を得て実施することを可能とする。
- ⑦ 策定した組み合わせ計画案は各実施機関、軌道上実証機関、宇宙輸送事業者の計画の更新・変更等を踏まえ、事業期間内は順次更新をしていくこと。



1. 宇宙戦略基金事業における国内打上調整について

2. JAXAからSpace BD社への委託業務

3. 質疑応答

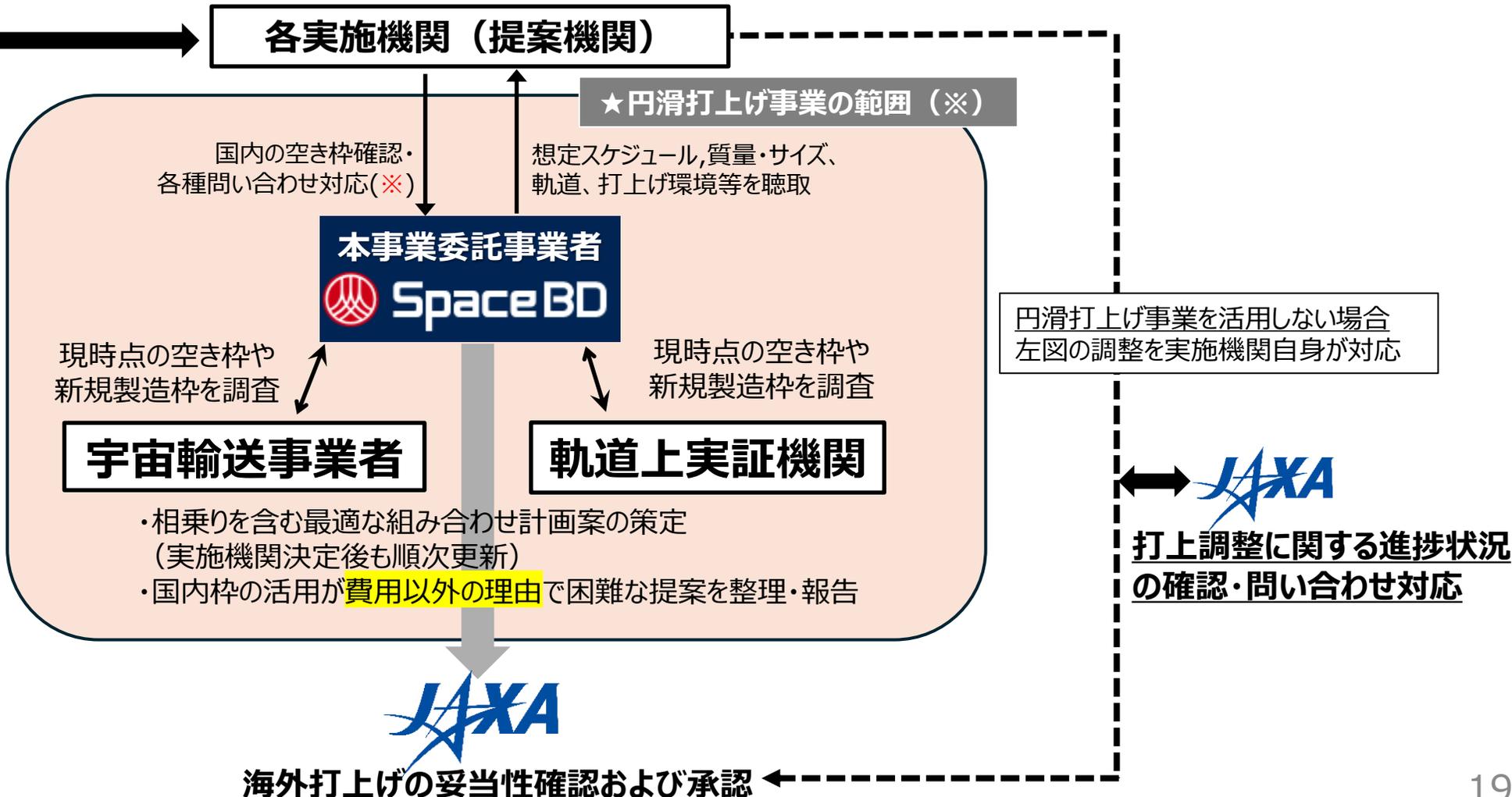


# 【再掲】国内打上げ調整におけるJAXAの役割

- 国内宇宙輸送事業との調整については、円滑打上げ事業の委託事業者であるSpaceBDが支援（マッチングシートのやりとり、技術情報の入手等）
- JAXAは実施機関との調整期日の調整、国内打上げが不可と判断された場合の海外打上げ妥当性確認及び承認が主な役割となる

**JAXA**  
調整期日の調整

(※)本業務において、Space BDは宇宙輸送事業者、軌道上実証機関の利用にかかる見積を代行するものではありません。

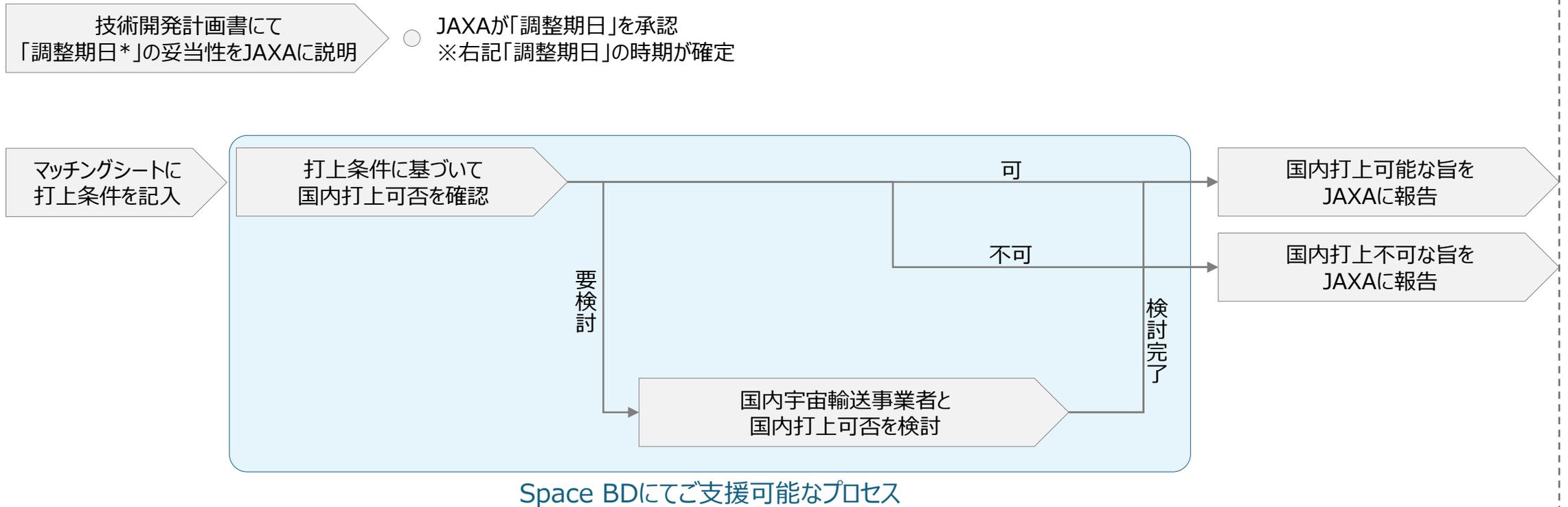


# 国内宇宙輸送事業者との調整プロセス

- 各実施機関は、打上げ実績（成否を問わない）を有する4社（MHI・IA・S1・IST）による打ち上げ可否を検討する必要がある
- 各実施機関が記入するマッチングシートに基づき、当該4社による打ち上げ可否の検討をご支援する

## ▼採択

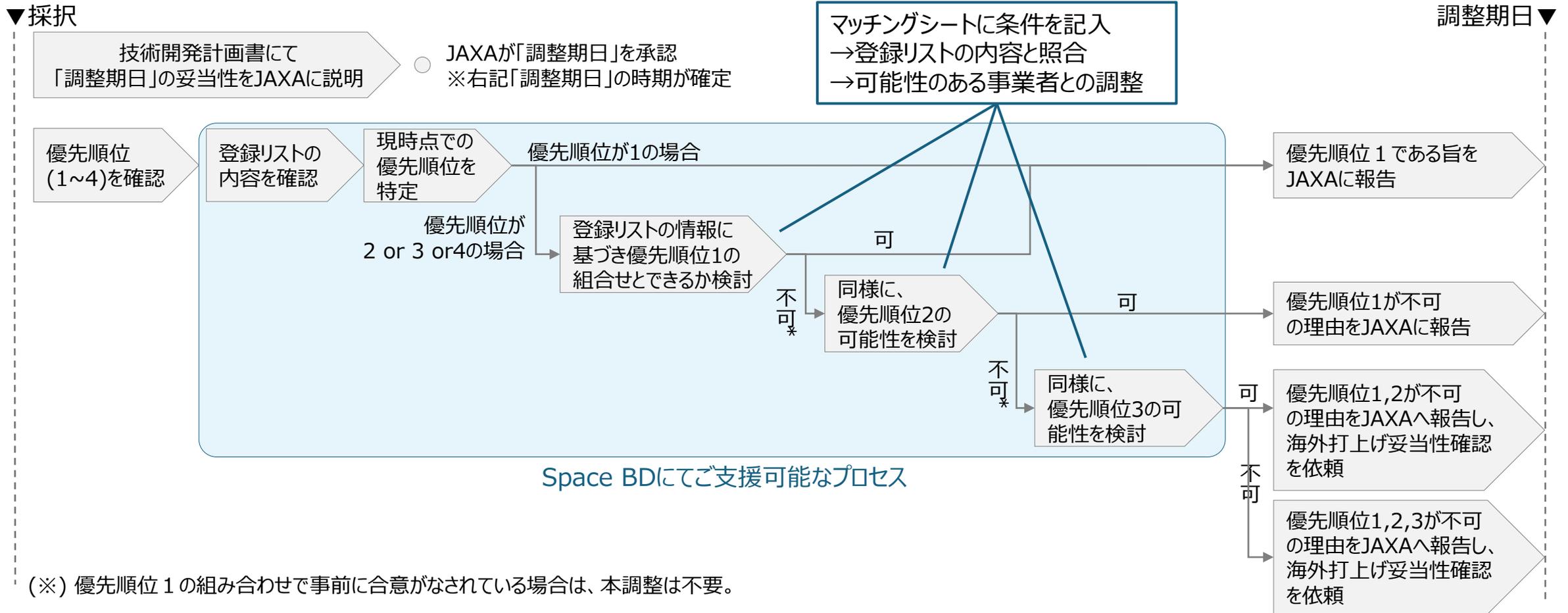
## 調整期日 ▼



# 軌道上実証機関との調整プロセス

- 各実施機関(※)はより高い優先順位の組み合わせの可否を検討する必要がある
- 国内打上げを前提に調整を進める軌道上実証機関は登録制により予めリスト化しており、優先順位1、2の組み合わせの調整の際は、当該リストを活用し打上げ調整を進めていただく

優先順位	軌道上実証機関	宇宙輸送事業者
1	国内	国内
2	海外	
3	国内	海外
4	海外	



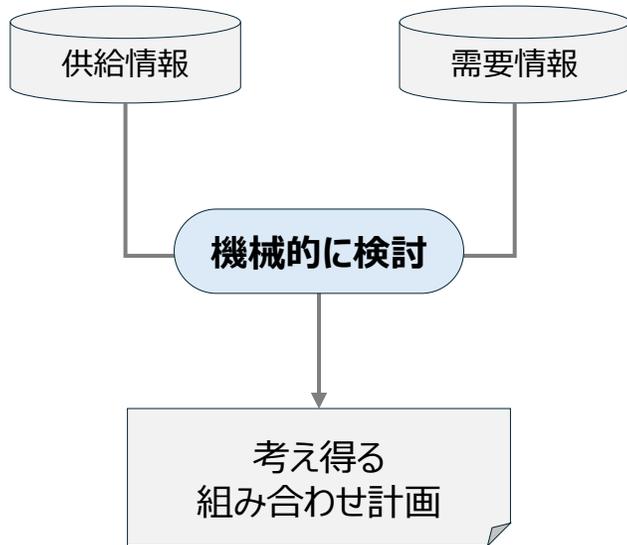
# 組み合わせ検討の方針

- 国内打上げ（国内軌道上実証機関の活用含む）が確定していない場合、以下の方針に則り調整を支援

## 方針①

恣意的な組み合わせの検討は行わない

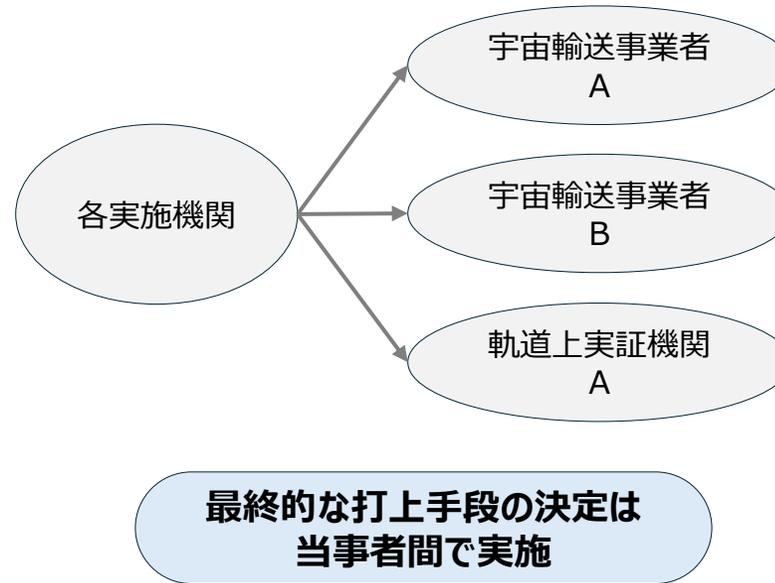
Space BDは打上げ・軌道上実証機会情報、および衛星情報を整理し、考え得る組み合わせを機械的に検討する



## 方針②

打手段の決定には関与しない

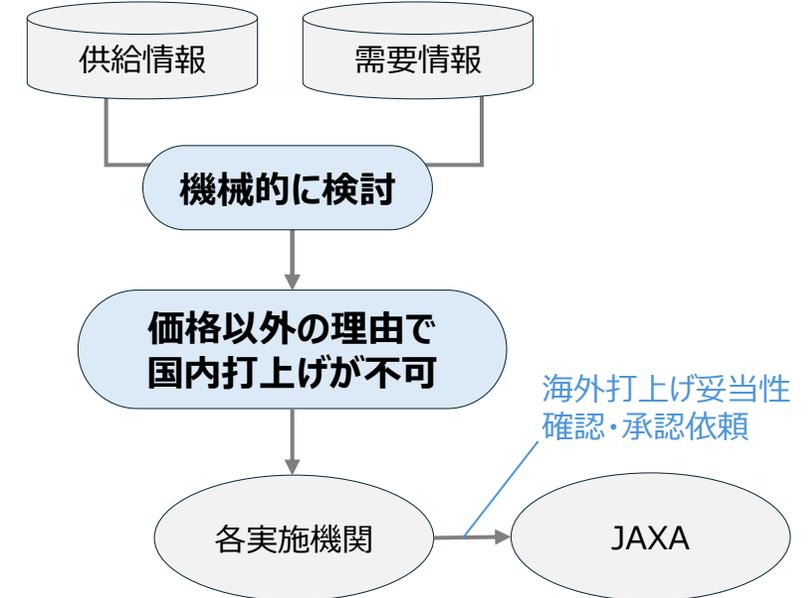
Space BDは組み合わせの検討はするが、最終的な打手段の決定には関与し得ない



## 方針③

国内打上げ(国内軌道上実証機関の活用を含む)が難しい場合、価格以外で打ち上げが不可である理由を明確化する

調整の結果、国内打上げが不可である場合、マッチングシートにて価格以外で国内打上げが不可である理由を明確化し、実施機関へ情報共有を行う



※なお、事前に国内の宇宙輸送事業者・軌道上実証機関との合意・調整を済ませている場合は、本事業での調整は不要。

- Space BDは実施機関等、宇宙輸送事業者及び軌道上実証機関から情報を受領する
- その際の情報管理については、当社のJAXAに対する以下表明・確約書の通り十分な管理を実施する
- （例えば新規打上可能性等の）調整打診をする場合に情報の開示が必要な場合は開示元の合意を得る

## <Space BDによるJAXAに対する表明・確約書の抜粋>

各実施機関等から知り得た情報については、以下の各事項を遵守するとともに、当該情報については宇宙戦略基金事業の技術開発テーマ公募への提案及び実施等Space BD株式会社が実施する本業務以外の業務を含め他に使用しないことを表明、確約いたします。

- 1 Space BD株式会社は、本業務の実施により各実施機関等から知り得た情報については、**善良な管理者の注意をもって秘密として取り扱わなければならない。**
- 2 Space BD株式会社は、本業務の実施により各実施機関等から知り得た情報を**第三者（Space BD株式会社の役員又は従業員のうち本業務の実施計画書に記載された実施体制に入らない者を含む。）に漏らしてはならない。**
- 3 Space BD株式会社は、本業務の実施により各実施機関等から知り得た情報については、**本業務の実施のために必要な範囲で利用することができ、その範囲を超えて利用することはできない。**

# 電波法の申請状況の確認・助言

- 免許申請・国際周波数調整に関し、JAXAが必要に応じ実施する支援・助言に必要な情報をご報告いただくのが目的
- 所定のタイミングにて、「電波法等申請状況進捗確認シート」により、実施期間各位へ事務局からヒアリングを実施

## 電波法等申請状況進捗確認シート

### <確認項目>

#### 1. 基本情報

- テーマの目的
- 国際周波数調整の状況 (ファイリングの流用可否)
- JAXA周波数管理室との調整要否
- 希望周波数
- 打上げ想定時期
- 予備免許希望時期
- 実験 or 事業開始 希望時期
- CR調整の要否

#### 2. ステータス確認情報

下記マイルストーン毎に状況確認

- 総務省への相談開始
- 国内周波数調整の開始～調整完了
- 無線局申請資料・国際調整資料の提出
- 国際周波数調整 開始
- 国際周波数調整 完了(通告)
- 予備免許の取得
- 打上げサービス等に引き渡し
- 打上げ後、軌道上での総合試験
- 本免許取得

### 電波法等申請状況進捗確認シート

本件、電波法に関する無線局免許申請や周波数国際調整に関する進捗確認については、宇宙戦略基金基本方針（令和6年4月26日）及び該当テーマの公募要領に基づき、JAXAによる技術開発方針では「技術実証等のために衛星等の打上げをする際には、使用するロケットの調達、軌道上実証機会の確保や衛星の国際周波数等の調整に一定の期間を要することに十分に留意し、必要に応じてとなる情報について、各実施機関の皆さんから、適切な時期に自己申告でご報告頂くものです。なお、ご報告頂くタイミング（マイルストーン）としては、一般的な無線局免許申請を参考に、以下のタイミングを想定しています。また、貴機関の研究開発の進捗により、マイルストーンに変化が生じる事が予想される場合には適宜、事務局までお知らせください。

（一般的な無線局免許申請の流れについて）

1. 総務省への相談開始（無線局の事前説明）
2. 国内周波数調整の開始～調整完了（項番2は調整不要、申請しながら調整を進める場合等もあります。）
3. 無線局申請資料・国際調整資料の提出
4. 国際周波数調整 開始（IFC公表～意見受付～調整対応～完了）
5. 国際周波数調整 完了（ITU-R BRへの通告）
6. 予備免許の取得
7. 打上げサービス等に引き渡し
8. 打上後、軌道上での総合試験
9. 本免許取得

※本シートは宇宙戦略基金事業の円滑な運営の観点から、電波法の申請状況を定期的に確認する目的で使用します  
※申請プロセスが分かれる場合はExcelのシートを複製し、「電波法等申請状況進捗確認シート」を複数作成してください  
【参考資料】

[小型衛星通信網の国際周波数調整手続きに関するマニュアル第3.2版](#)

#### Step 1 基本情報を選択・入力してください

A) 本テーマの主たる目的（該当する項目にしを付けること※複数選択可）

<input type="checkbox"/> 地球探査
<input type="checkbox"/> 宇宙研究
<input type="checkbox"/> 新しい通信技術の実証実験
<input type="checkbox"/> 宇宙で使用する機器（人工衛星を含む）の実証実験
<input type="checkbox"/> その他（ ）

D) 希望周波数

B) 国際周波数調整の状況（該当する項目にしを付けること※複数選択不可）

<input type="checkbox"/> 既存ファイリングを使用（ファイリング名： ）
<input type="checkbox"/> 新規ファイリングを提出予定
<input type="checkbox"/> その他（ ）

E) 打上げ想定時期

F) 予備免許希望時期

C) JAXA周波数管理室との調整要否（JAXA地上局の利用有無）

G) 実験開始 or 事業開始 希望時期

実験開始	<input type="text" value="20XX/XX/XX"/>
------	---

H) CR（Coordination Request）調整の要否

※C)の要否は、必ず総務省相談前にその要否をご確認ください。

#### Step 2 下記「ステータス」及び「タスクを進めるための課題」を記入・選択してください

※サンプルシート（目安）をもとに完了時期目安が仮置きされます。総務省への相談内容を踏まえ適宜見直しの上運用してください。

1. 宇宙戦略基金事業における国内打上調整について

2. JAXAからSpace BD社への委託業務

3. 質疑応答





## ■ 会場参加の方へ

ご質問のある方は、挙手をお願いいたします。マイクをお持ちしますので、はじめに「ご所属」と「お名前」をお知らせのうえ、ご質問ください。

## ■ オンライン参加の方へ

Zoom画面のQ & Aに「ご所属」と「お名前」を記入の上  
質問内容をお書きください。

会場で読み上げ、ご回答いたします。



※なお、本日いただいたご質問の正式回答は後日基金HPに公開予定です。